

おれんじの屋根

施設長より

「共生社会」について少し

障がいのある人の福祉や教育のキーワードの一つに、「共生社会」があります。

先日、小学校で、PTAの方々に特別支援教育についてお話をする機会がありました。今までいろいろなところでお話をして来ましたが、一般の親さん（※特別支援学級の児童の親さんも入っていらっしゃる）に特別支援教育をお話をするのは初めてでした。うちには関係ないしシャッターを下ろされるのではないかと心配もしていましたが、思いの外よく聞いていただけました。

話の中で強調したことの一つは、特別支援教育は、誰もが安心して暮らせる「共生社会」をめざす上で、とても重要なものだという事でした。

「共生社会」とは、「全ての国民が、障害の有無にかかわらず、等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されるものである」との理念にのっとり、全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会」（障害者基本法第1条）といわれています。

2年前に神奈川県相模原市の入所の障がい者施設で凄惨な殺傷事件がありました。犯人は、「障害者は不幸しか作れない。いない方がいい」、「重度・重複障害者は安楽死の対象にすべきだ。」と言っています。また最近では、性的マイノリティ（LGBT）の方々について「『生産性』がない」と述べた国会議員もいるようです。

が、人が人を、生きる価値がないとか生産性がないとか決めつけ排除する社会や時代に生きたくないなと思います。

共生社会の基盤は、他者を認め合える多様性や寛容性にあると思っています。障がいがあっても、高齢になっても、病気になっても、経済的に困窮しても、みんなが支え合える多様性のある寛容で柔軟性をもった社会、そういう社会で暮らしたいと思っています。

今この時代に、さまざまな人が（支え合って）生きているということを実感する機会としても、特別支援教育や「交流及び共同学習」（障がいのある子どもと障がいがない子どもなどがふれあう）、障がいのある人が地域社会の方々ともふれあうことなどが非常に重要だと考えます。知っていれば何ということもないのに、知らない人やものごとに対して、人は不安や不信感を抱き、それが排除や不寛容につながることは過去の例でもよくあります。

同じ時代に、地球（や日本、熊本）という乗り物に乗り合わせている者の一人として、障がいのある子どもや人もいるのだということ、そして、この人たちのよさを、社会や地域の人たちにもっと知っていただく努力を、これからもずっと続けていかなければならないと思っています。

松本主任の 北米研修記

平成30年9月26日～10月6日まで「民間社会福祉施設職員等海外研修 北米」に参加。研修記を3回に分けて掲載します。第1回目は日本出発から最初の訪問地ミネソタ到着までの様子です。

こんにちは！松本大志です。アメリカのミネソタ、シアトル10日間の海外研修の報告です。参加者は全国から集まり総勢13名でした。行政機関や現場の職員、障がい者の方々やその家族に実際に話を聞くことができ、仕組みや社会全体の福祉に対する理解の深さ・熱い思いを肌で感じる事ができました。最初は不安でいっぱいでしたが、とても有意義な経験となりました。

9月26日、羽田空港から9時間かけてミネソタに到着し、第一日目の視察見学としてセントポール大聖堂やミネソタ州議事堂へ行きました。日本とは違い、建物の規模の大きさに驚きました。次回はミネソタ、シアトルでの研修の様子を報告したいと思います。

ミネソタ州議事堂



セントポール大聖堂

HELL'Sキッチン



馬場穂奈美さん
ありがとうございました

馬場穂奈美様

長い間 お世話になりました。



平成14年から16年8ヶ月の間、利用者さん、職員のため愛情豊かな食事を作っていただきありがとうございました。

あの明るい笑い声が聞けなくなると思うと寂しい限りです・・・

いつでも遊びに来てくださいね！
今までありがとうございました。



地域の方と お月見会をしました

平成30年9月21日（金）地域の方をお招きしてお月見会を行いました。

当日はあいにくの天候のため、室内でのお月見会となりました。給食職員手作りの《お月見バーガーセット》や鉢盛でお腹を満たし、その後はカラオケ大会大賑わいでした。

最後はしょうぶの里恒例のバンザイですが、今年はUSAバージョンのバンザイをしてお開きとなりました。



救急蘇生法の講習会を受講しました！

平成30年9月12日、25日の2回に分けて、小島消防署から消防隊員、救急救命士の方をお招きし、職員全員が救急蘇生法の講習会を受講しました。

傷病者への声のかけ方、周りの人への援助の呼びかけ方、心臓マッサージ、AEDの使い方などを学びました。

本来はこのようなことが役に立たないことが良いのですが、いざこのような場面に出会った時は勇気を持って行動したいと思いました。



給食室より

☆10月のイベントメニュー☆

10月 3日 誕生会ケーキ、コーヒー又は紅茶

10月 5日 リクエストメニュー
ちらし寿司、焼きとりセット
マカロニサラダ、ぜんざい

10月16日 リクエストメニュー
あげパン、ちゃんこ鍋風煮もの
和風サラダ、巨峰

10月23日 手作りおやつ



給食室では食器等を洗うときに、しょうぶの里で作った廃油せっけんを使用しています。泡がれも良く、油汚れも落ちるこの石けんはいろいろな場面で重宝しています。



管理栄養士 米村

医務室より

季節の変わり目にご注意！

10月も下旬となり、朝晩肌寒い季節となりました。しょうぶの里でも鼻かぜや熱発の利用者さんが数名いらっしゃいます。朝晩の気温の差が大きいこの時期は、衣服や寝具の調整が大切です。

これから年末に向けて、イベント事など楽しい行事がたくさんあります。

毎朝のラジオ体操、ウォーキング等で、体調を整えていきましょう。

看護師 齊藤

おいせ

《インフルエンザ予防接種》

平成30年11月21日（水）しょうぶの里にて、利用者、職員を対象にインフルエンザの予防接種を行います。詳細については後日プリントを配付いたします。

山田尉一さん おりがとうございました

平成30年10月17日、しょうぶの里初代事務長の山田尉一さんが逝去されました。享年74歳でした。平成13年の設立から平成21年9月までしょうぶの里に携われご尽力いただきました。安らかに眠りください。

合掌



～編集後記

あの暑かった夏の日々がうそのように、最近朝晩、めっきり涼しく…いや、寒くなりました。日本の四季の移り変わりを改めて実感しています。風邪をひきやすい季節です。気をつけましょう！

～第18号～

平成30年10月25日発行
発行元 しょうぶの里
熊本市西区小島9丁目14-58
TEL (096) 311-4588

